

笠井先生が医療支援に

今日も浜通りからの避難者の方13人が受診されました。特に状態の悪い方はいませんでした。が、薬が無くなるという方が多く、薬の名前が分からなかったり、分かっても当院で採用していない薬だったりして、診察に時間がかかっています。仙台から来て頂いている小児科の能勢先生に代わって、以前わたり病院小児科に勤務していて現在二本松で開業されている笠井先生が、自身の診療所の休診の合間をぬって外来診療の支援に来てくださいました。これもあって、今日は小児科の熊谷先生が避難所訪問に出かけました。



いいの診療所では通所リハビリが再開
無事を確かめ喜び合いました

私にできることありませんか？

病院受付からボランティアご希望の方が来ているとの連絡があり、行ってみるとそこには若い女性の方が、介護福祉士の勉強をしているが、休みなので手伝えることがあればとのこと。その直前本部事務局では、「学校が春休みになり通常は自宅で過ごさせているが、大きな余震が続いており子供の不安が大きい」という職員のために、震災直後から先週まで通所リハビリで行っていた震災保育所「元気の部屋」を再度立ち上げたいが、場所が・・人手が・・と悩んでいたところでした。事情をお話すると、小学校で仕事をしていたこともあるので大丈夫、家も病院のすぐ近くとのこと。テレビドラマのような展開になりました。10時から4時の間は病院となりの児童センターと交渉し利用させていただけることになり、前後は病院の施設を使うことにして、さっそくこの部屋の掃除をしていただきました。

わたり学習センターの協力で

東高校舎への炊き出し継続

東高校への炊き出しは今日で7日目を迎えました。今月いっぱい続ける予定ですが、土曜・日曜日は学校の調理室が使えなくなることから、どこで調理を行うかが課題になっていました。そこで、渡利学習センターに西元副理事長と阿部理事が交渉に行ったところ、そのような事情ではどうぞと快諾していただきました。

お願いです!!

避難所回りの中で下着類の不足が課題になっています。そこで、新品・未使用のものに限り下着（上下）と靴下の提供をお願いします。最寄りの福島医療生協の事業所に届けてください。